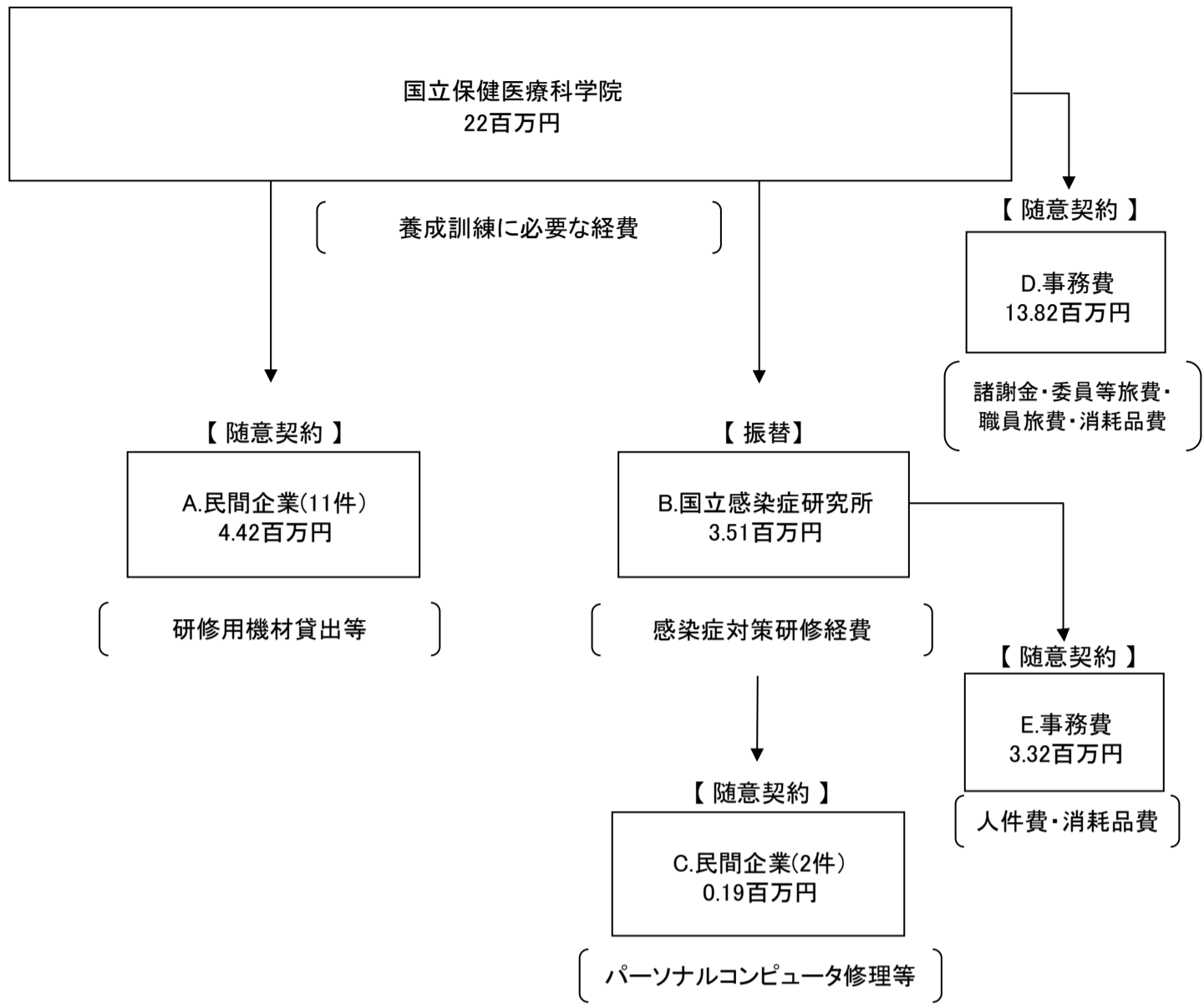


平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	短期研修経費	担当部局庁	国立保健医療科学院	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	総務部会計課	課長 岡山 幸平				
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適性かつ効果的な運営を確保する。					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	国立保健医療科学院教育訓練規程(第6条)(厚生労働省訓練第38号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉の分野の関係業務に従事している者に対して、業務に関する最新の知識、技術等を受けることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉の分野の関係業務に従事している者に対して、地域医療連携マネジメント研修、水道工学研修、ウイルス研修、児童虐待防止研修など28コース(31回開催)で各分野の最新の知識、技術等の研修を実施する。(平成23年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	46	28	26	24	22	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	46	28	26	24	22	
		執行額	46	22	22			
	執行率(%)	100%	78.6%	84.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)	
	前年度に実施した短期研修について、毎年その1/3程度について、フォローアップ調査を実施し、受講者理解度や有益度、受講者が派遣元で研修成果を存分に発揮しているかなど派遣元側の有益度について、その90%を指標としている。	研修受講者に対する有益度の調査	成果実績		84	81	79	90
		達成度	%		93	90	88	
	研修派遣元に対する有益度の調査	成果実績		92	90	88	90	
達成度		%	100	100	98			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	短期研修での受講者総数を指標としている。 [募集定員] 平成21年度 49コース 2,235人 平成22年度 30コース 1,305人 平成23年度 28コース 1,295人		活動実績 (当初見込み)	人	2,017	1,547 (1,305)	1,535 (1,135)	— (1,155)
単位当たりコスト	(14,196円/受講者)		算出根拠	平成23年度短期研修経費 21,791千円/1,535人=執行額/受講者数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	8.2	6.1	執行見込みに基づき積算の見直しを行った。				
	職員旅費	0.4	0.4					
	委員等旅費	3.7	3.7					
	庁費	1.3	1.3	事業内容の変更に伴う増。				
	試験研究費	9.7	9.9					
	外国人招へい旅費	0.4	0.4					
	招へい外国人滞在費	0.2	0.1	執行見込みに基づき積算の見直しを行った。				
計	23.9	21.9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地方自治体等において保健医療福祉業務に携わる職員に対し研修を行い、資質の向上を図ることにより国民のニーズに応えている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	地方自治体等では実施運営が困難な専門的かつ高度な研修を実施している。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	謝金の辞退が多かったため。
資金の流れ、使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	100万円以下の役務のため少額随意契約とした。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	募集定員の減少に伴い、経費も削減している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	必要に応じ実費負担を求めている。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業の適切な遂行について、必要なものに限定している。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	平成23年度の活動実績について、有益度調査結果の目標である90%を下回ったところである
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね見込みどおりの活動を行っている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
		※類似事業名とその所管部局・府省名	-
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	受講者が自治体等にもどり、保健医療福祉業務分野で活躍している。	
点検結果	<p>平成20年度から開始したフォローアップ調査も、4年間かけて概ねすべての研修について実施することが出来た。調査の結果、専門職たる公衆衛生技術者を対象とする研修に比べ、行政事務職を対象とする研修は成果目標の達成度がやや劣ることが判明した。専門職向けの研修では、演習や実習を充実させるため相対的に定員は少数で、研究期間は長く設定されている。今後は、これらをベースとして研修毎に達成度の増減幅を把握することができる。平成24年度の調査後は恒常的に行っている研修内容の評価と合わせて、これまで以上に研修内容を精査、検証し、次年度の研修計画の作成に活用する。</p> <p>国立保健医療科学院で実施すべき研修であるか否かについては、常に検討しており、適宜見直しを行っていくところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、保健医療、生活衛生及びこれらに関連する社会福祉の分野の関係業務に従事している者に対する研修に要する経費であるが、執行状況等検証の上、適切な予算計上に見直すこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>諸謝金等について、執行見込みに基づき、積算の見直しを行った。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0593	平成23年行政事業レビュー	0540



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.非常勤職員		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし		人件費	賃金	1.41
計		0	計		1.41
B.国立感染症研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入	検査機器及び薬品類等	1.91			
人件費	賃金	1.41			
雑役務費	パーソナルコンピュータ修理等	0.19			
計		3.51	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	100万円以上の支出先なし				
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アトミ	研修募集要項印刷及び製本、発送業務	0.94	随意契約	
2	(株)外国文献社	教育研究事業フォローアップ調査データ入力業務	0.87	随意契約	
3	シンクアプローチ(株)	謝金旅費経費算出支援システム運用業務	0.85	随意契約	
4	オリンパスメディカルサイエンス販売(株)	クリプトスポリジウム試験法実習機材貸出	0.67	随意契約	
5	(株)三啓	顕微鏡貸出	0.39	随意契約	
6	(有)正陽印刷	修了証書印刷請負業務	0.39	随意契約	
7	(株)MEG毎日映画社	研修案内ホームページ差し替え作業	0.23	随意契約	
8	個人A	平成23年度臨床試験(生物統計学)人材育成事業招へい外国人滞在費	0.04		
9	キャンボンマーケティングジャパン株式会社	プリンター修理業務	0.02	随意契約	
10	朝霞税務署	招へい外国人滞在費にかかる源泉徴収所得税	0.01		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立感染症研究所	感染症対策研修	3.51	振替	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ニード	パーソナルコンピュータ修理	0.16	随意契約	
2	富士ゼロックス(株)東京西営業所	複写機保守業務	0.03	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)紀伊国屋書店	外国雑誌購入	0.81	随意契約	
2	堀内電機(株)	ノートパソコンほか購入	0.76	随意契約	
3	(株)ナカビシ	和書等購入	0.68	随意契約	
4	(株)ニュートリノ	洋書等購入	0.67	随意契約	
5	(株)西田文具	事務用消耗品購入	0.55	随意契約	
6	(有)正陽印刷	封筒購入	0.54	随意契約	
7	(株)ホサカ	デスクトップパソコン購入	0.44	随意契約	
8	(株)三省堂書店	和書等購入	0.30	随意契約	
9	とら屋事務(株)	事務用消耗品購入	0.24	随意契約	
10	(有)グッデン	事務用消耗品購入	0.13	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	賃金	1.41		
2	尾崎理化株式会社	検査用消耗品購入	1.27	随意契約	
3	(株)アベバイオロジカルリサーチ	検査用消耗品購入	0.25	随意契約	
4	株式会社ニード	OA機器消耗品購入	0.23	随意契約	
5	(株)池田理化	検査用消耗品購入	0.09	随意契約	
6	株式会社 紀伊国屋書店	和書購入	0.04	随意契約	
7	(株)竹宝商会	検査用消耗品購入	0.02	随意契約	
8	大洋産業株式会社	事務用消耗品購入	0.01	随意契約	
9	美津野商事(株)	事務用消耗品購入	0.005	随意契約	
10	アドバンテック東洋株式会社	検査用消耗品購入	0.005	随意契約	